

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

2021年11月29日

和泉市長 あて

団体名 和泉相撲甚句健康教室

代表者名 有本 博幸

所在地

電話

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	和泉相撲甚句健康教室
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input checked="" type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	238,400 円 (うち、対象経費 238,400 円)
支援金 交付申請額	100,000 円

1. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。

( はい ) ・ いいえ )

2. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

## 団体概要調書

フリガナ	イズミスモウジクケンコウキョウシツ		
団体名	和泉相撲甚句健康教室		
団体の目的	和泉市民に対し、本団体に関する業務を行い、相撲甚句の普及と地域の活性化及び、高齢者の健康福祉の増進に寄与する。		
市内事務所の所在地			
	電 話		F A X
フリガナ	アリモト ヒロユキ		
代表者氏名	有本 博幸		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※		電 話
	フリガナ	ワタベ キミオ	
	渡部 公雄		F A X
(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。			
設 立 年 月	平成 31 年 9 月	主な活動地域	和泉市内
会報等の発行	有 ( 回発行 ) ・ 無	会員数	8 人
メールアドレス			
ホームページ			
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和泉市民が自由に参加できる相撲甚句健康教室を開催する。</li> <li>・市内の高齢者施設などで相撲甚句を披露し、慰問する。</li> <li>・市内で開催される各種行事に参加し、相撲甚句を披露する。</li> </ul>		
主な活動の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相撲甚句教室を 2回/月 開催。 (2021 年は述べ約 200 名参加)</li> <li>・2021 年 10 月 和泉市文化祭に参加。</li> <li>・2021 年 11 月 和泉市アイ・あいロビーフェスタに参加。</li> </ul>		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額 (円)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 事業計画書

1 事業名	和泉相撲甚句健康教室
2 申請コース	<input type="checkbox"/> (1) 公益活動支援コース <input checked="" type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース <input type="checkbox"/> (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
<p>① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等          少子高齢化や地域住民の連帯感の希薄化の進展は、以下の問題が起因している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統文化の衰退。</li> <li>・ 地域帰属意識の低下。</li> <li>・ 高齢者の健康意識の低下。</li> </ul> など	
<p>② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果          相撲甚句健康教室の定期的な開催や、地域の催しへ参加することにより、以下の効果が期待される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統文化の伝承・発展を目指す。</li> <li>・ 地域への帰属意識活性化に繋げる。</li> <li>・ 高齢者の健康意識の向上。</li> </ul> など	
4 事業内容（※別紙添付可）	
<p>① 問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幅広い年齢層の市民を対象に、和泉相撲甚句健康教室を月2回開催する。</li> <li>・ 各種イベントに参加し、市民に相撲甚句を披露する。</li> <li>・ 市内の高齢者施設などで、相撲甚句を披露し、入居者と共に歌い楽しんでもらう。</li> </ul>	
② 実施期間（日時）	令和4年4月1日から、令和5年3月21日まで
③ 実施場所	和泉市内
④ 主な対象者	和泉市民
⑤ 参加予定者数	定期教室 10人×24回=240人 教室以外にも、イベント参加や施設訪問を通して、たくさんの方に相撲甚句を披露する予定。
⑥ 告知方法	和泉市広報紙掲載、イベント会場等でのチラシ配布。

5 事業スケジュール	
時期（月）	内容
	<p>①相撲甚句教室は、毎月第一金曜日に繁和町会館で、第三水曜日に和泉市コミュニティセンターで定期的で開催し、和泉市や和泉市社会福祉協議会等の広報誌や駅等での広報チラシの配布等により、不特定の和泉市民の参加を求め相撲甚句の歌いかたや、歌詞の作成要領等の指導を行う。</p> <p>②各種イベントに参加して市民に相撲甚句を披露する。</p> <p>③和泉市内の老人施設等を慰問し、相撲甚句を披露するとともに歌いかたや歌詞の作成要領の指導を行う。</p>
<p>6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 (実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。)</p>	
①公益性	<p>①日本の国技である大相撲の力士らが「稽古の厳しさ」や「故郷への思い」を哀愁漂う独特の節回りで歌う相撲甚句は、多くの愛好者が居る地域に根付いた伝統文化であり、この日本古来の伝統文化を風化せさせてはならない。</p> <p>②相撲甚句を介した輪は「地域の連帯感の醸成」に、また、腹の底から声を出す相撲甚句は和泉市民（特に高齢者）の健康増進に繋がる最適な事業である。</p> <p>③相撲甚句は「伝統文化の衰退」「地域連帯意識の希薄化」「高齢者の健康問題」等、地域が抱える課題の解決に最適の事業である。</p>
②継続性	<p>④事業の目的が「伝統文化の興隆」「地域帰属意識の醸成」「市民（特に高齢者）の健康の増進」と言った、誰もが何時の時代にも希求するもので、皆で相撲甚句をすることで、地域の連帯感醸成にも繋がっていくと考えている。</p> <p>⑤相撲甚句健康教室は、会員の会費をもって財源確保に努めている団体である。</p>
③実行性	<p>⑥目的・効果が明確であり、月2回の定期的な健康教室、和泉市や和泉市社会福祉協議会、和泉市内の老人施設等と連携した事業計画及び、事業遂行に必要な最小限の予算も確立されている。</p> <p>⑦現在会員は8名であるが、団体内で教えられる体制が整っており、成果が期待出来る十分な体制である。</p> <p>⑧事業の成果をより確実に、更に大きくするために必要最小限の申請額です。</p> <p>⑨現在の会員は、目的達成に熱意があり、定期的に会うため会員同士の意思疎通もできている。</p>
④協働性	<p>⑩本事業に参加するには甚句を歌う気力・体力が有るだけで十分であり、誰でも参画出来る事業である。</p> <p>⑪相撲甚句や民謡又、謡曲やフラダンス等の愛好市民も、その団体も目指す目的・成果は同じで、活動の場も同じような所で、常に相互連携の重要性は認識しており、そのきっかけづくりになる事業である。</p> <p>⑫相撲甚句の愛好者は何処の地域にも、どんな世代にもおり、地域や世代を超えた幅広い交流、協力が図られる事業である。</p>
⑤公開性	<p>⑬和泉相撲甚句健康教室設立以来3回の新聞記者の取材に応じたり、和泉市社会福祉協議会と連携したボランティア講座の企画や、市民の理解と参加を求める為の主要駅での広報チラシ配布等を積極的に実施し、情報発信に努めている。</p>

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

	⑭「新聞報道の活用」「和泉市や和泉市社会福祉協議会等との連携」「広報チラシの配布」「地域に密着した会員の口コミ作戦」等により、多くの市民の理解と関心が得られ、活動に参加してもらえるよう工夫している。
⑥発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)	⑮「日本古来からの伝統文化の興隆」「地域への帰属意識の醸成」「心身の健康増進」といった目的は誰もが希求する願いであり、この達成を目指す「和泉相撲甚句健康教室」はまさに魅力ある事業と言えるとともに、今後も継続していく事業であると言える。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 収支予算書

事業の名称： 和泉相撲甚句健康教室

### 1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	100,000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	0	
自主財源	138,400	会費
合 計	238,400	

### 2. 【支 出】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
旅費	32,000	出演移動時交通費
消耗品費	21,000	文房具等（インク・用紙）、のぼり、垂れ幕
印刷製本費	15,000	簡易印刷
役務費	12,000	通信費、送料、ボランティア保険
使用料・賃借料	158,400	会場使用料（繁和町会館、和泉市コミセン）
合 計	238,400	
対象経費	238,400	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。